



議会だより

ピツシリ

第 77 号

北海道苫前郡羽幌町南町

TEL(0164)62-1211(内線510)

FAX(0164)62-1278

発行 羽幌町議会

編集 議会広報特別委員会

発行日 平成22年7月28日



政局展望

平成22年度
北海道町村議会議員研修会

産業ヒックハンの経済学

山下 仁志

全道町村議会議員研修会

▶ P 2 … 6月定例議会

▶ P 4 … 常任委員会報告

▶ P 3 … 一般質問

▶ P 6 … あとがき

議会日誌

〔5月〕

13日・行政改革特別委員会
14日・総務産業常任委員会

〔6月〕

11日・議会運営委員会
16日・議会運営委員会
16日・第4回羽幌町議会
定例会

・議員全員協議会
・議員説明会

22日・議会広報特別委員会

〔7月〕

1日・全道町村議会議員研修
会

2日・道内行政視察

14日・美幌町議会議員視察訪
問

・議会広報特別委員

21日・議会広報特別委員会

22日・総務産業常任委員会

町政はあなたのために！

議会を

倍聴しましょう！

■9月の定例会は

9月15日開会予定です。

報告 — 2件
承認 — 2件

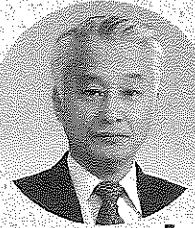
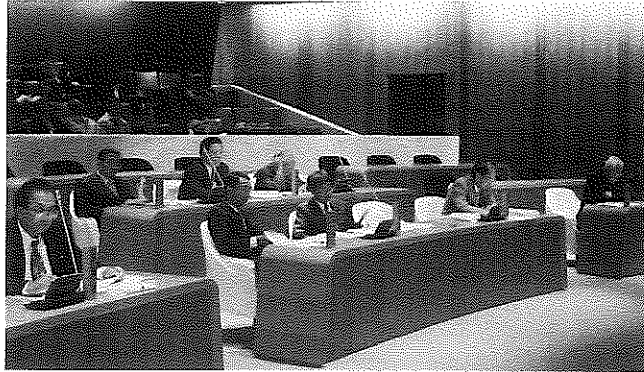
定例会

6月16日～17日

議案 — 9件
議案 — 2件
意見案 — 1件

報告

- ・平成22年度定期監査報告 (第1次)
- ・平成21年度羽幌町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告 (414,468千円)



舟橋町長

四選立起を決意

室田議員の質問を受ける

承認

- ・平成21年度羽幌町一般会計補正予算(50,000千円追加)
- ・羽幌町税条例の一部を改正する条例
- ・羽幌町税条例の一部を改正する法律等の公布に伴い、羽幌町税条例の一部を改正するもの

成立した主な事項

- ・羽幌町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- ・羽幌町立高等学校の授業料徴収条例の一部を改正する条例
- ・羽幌町国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ・留萌支庁管内公平委員会共

意見案

- ・同設置に関する規約の変更について
- ・北海道市町村総合事務組合規約の変更について
- ・北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について
- ・北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について
- ・北海道市町村備荒資金組合規約の変更について
- ・平成22年度羽幌町一般会計補正予算(10,461千円追加)
- ・義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元
- ・教職員定数改善、就学保障充実など2011年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書の提出について

閉会中の常任委員
会の所管調査事項

(7・8月)

総務産業常任委員会

- ・港湾事業の進捗状況について
- ・産業団体(農業)理事との懇談会開催について
- ・緊急を要する所管事項について

文教厚生常任委員会

- ・特別養護老人ホームの進捗状況について
- ・公営住宅及び単独住宅の管理運営等について
- ・住宅改修促進助成事業の進捗状況と今後について
- ・キタキツネ及びエキノコックス症対策について
- ・緊急を要する所管事項について

議会運営委員会

- ・本会議の会期及び日程について
- ・議会の運営等に関する事項について
- ・議長の諮問に関する事項について

【質問】道立羽幌病院は、中部地区の中核病院として位置づけられ、その充実は住民が大きく期待しているところですが、平成17年の新築以後は診療科が増設され明るい方向が示されていたが、昨今の全国的な医師不足の影響で常勤医が年々減少し、地元での出産や全身麻酔による手術ができない状況に至っている。

住民の不安は増し、遠隔地での入院加療は経済的にも大きな負担となっている。

本年度に入り常勤医の転出等は診療科の閉鎖のみならず病院の維持すら危ぶまれる状況となった。しかし、町長をはじめ病院関係者の交渉により医師の確保等現状を維持するに至った。

町長は、先の説明会において「羽幌町としてできる支援を早急に検討し病院の充実のために対応したい」と決意を示されたが、その後の様な対策を考え実施されているのか伺いたい。

【町長】「北海道病院事業改革プラン」や3月の道議会において知事は、「中核医療機関としての機能を羽幌病院が

十分果たせるように、現行の常勤医師体制の確保を最大限努力し医療機能の充実に取り組んでいく」との考えを示している。これらの経緯を踏まえ現状の体制維持は図られるものと思っているが、町としてもできる限りの支援をしていきたいと考えている。

医師の業務軽減を図るため21年度には保健業務を、今年度は学校医療業務を他の病院へ委託。

一般質問

道立羽幌病院への

支援策について

室田憲作議員

医師との交流の機会を設けるほか、町の広報のお知らせ欄で外来診療体制等を住民に周知、更に病院駐車場や一部公宅敷地使用料の免除等を行っている。

今後の支援対策としては、医師対策として、民間による病院支援組織の構築。医師の招致活動。研修費用の貸付による医師のスキルアップ支援。医師を育てる奨学金の創

設。派遣医師の送迎支援等だが、町としてすぐ実行に移せるもの、予算を伴うことから検討を要するもの、住民の協力が必要なものもあり、内部での協議・検討を重ね議会の特別委員会や北海道とも協議しながら対応をしたい。

【質問】現状の体制が維持されていると言われるが、3月まで常勤医師、派遣医師はそれぞれ何名か。また4月以降

どの様な在籍になっているのか。

【福祉課長】21年度は、常勤医が7名。出張医が8名でした。4月からは、常勤医5名、出張医8名の体制です。

【質問】常勤医が減となり、出張医は現状維持であるが、住民が医師をどの様に受け止めているのか「かかりつけの先生」がいつも替わるのでは不

安に思う。最近入院患者のみならず外来患者も減少気味であるとのこと。これらからして現状は維持されていないと思うがどうか。

【福祉課長】実際には医師の数は減っているが、出張医による診療科目を重複して医師が派遣されたり、常勤医の夜間の勤務緩和のため出張医で賄ったり、土・日曜日を出張医で救急医療の対応をしており3月までの状況よりもある面では確立された体制だと思っている。

【質問】町としての支援対策について具体的に説明下さい。
①民間による病院支援組織の構築とは。②研修費用の貸付により医師のスキルアップ支援とは。③医師を育てる奨学金の創設とは。④派遣医師の送迎支援とは。

【福祉課長】①について、羽幌町に勤務されている医師の紹介や病院の実況などを知らせる住民組織を作りたい。
②について、羽幌町に常勤医として一定の期間勤務して頂いた医師に研修費用を出すと

いう施策です。③について、羽幌町で将来医師を志す方への奨学金制度です。
④について、現在は道立病院で留萌まで送迎をしている。民間病院の医師が札幌などから来る場合もあるので、それらの支援ができないかを考えているところです。

【質問】病院関係者との積極的な懇談の中から病院の現状を把握し町として出来ることは何か、予算が必要なことは何かを見極め支援を推進すべきと思う。

また、出張医の先生方に羽幌町の良さを知って頂く場や機会をつくり、やがては常勤医として勤めて頂く事へ発展して行くことを期待したいが。

【福祉課長】月に2、3回病院に向いたり、電話による連絡もして情報を得るよう心がけている。

医師だけではなく家族の方々も含め懇親・交流会を考えている。その中で羽幌町の特産品や住環境などについても紹介し、羽幌の魅力を十分に伝えていきたいと考えている。

常任委員会

所管事項調査

総務産業常任委員会

(平成22年5月14日開催)

上下水道事業の 運営及び施設の 状況について

◎羽幌町浄水場(上水道施設)
◎羽幌町浄化センター(下水道施設) 両施設の機能等について説明を受け、施設内の視察を行う。

・視察終了後、委員会を再開。

1 「上水道事業」

①水質検査について

○資料に基づき説明を受ける。

・毎月一回行う検査はペーハー、色度、濁度、残留塩素等。
・毎月の検査は一般細菌、大腸菌、カドミウム、シアン化物イオン等で、7月には51項目を実施している。

・毎月の水質検査は、羽幌川の表流水をろ過し浄水にして配水池に上げ、配水池から配水管を通り各家庭の蛇口から出てくるものを検査している。

・羽幌の採水地点は給水区域の末端地域であり比較的使用量も多く、水道水質の把握をするには代表的な地域としてフェリーターミナルを選定している。

・天売、焼尻地区も同じようにフェリーターミナルで採水している。

・羽幌川の4線の所を原水の取水口としている。

・原水の汚水要因は雨降りの時、雪解けの時、ダム放流時の3点で、この時だけ高濁度になる。

・水質検査の結果についてはホームページ等で公表している。

【質問】原水で大腸菌が検出されたり不検出だったりしているが、原水が変化することがあり得るか。

【回答】原水に大腸菌はあると思っっている。濁度の高い時は検出される。濁度の低い時は不検出。検査は7月に全項目を行うがその時、濁度が高ければ検出され、低ければ不検出となる。

【質問】漏水対策の関連で管の設備状況と今後の計画について、漏水の状況について。

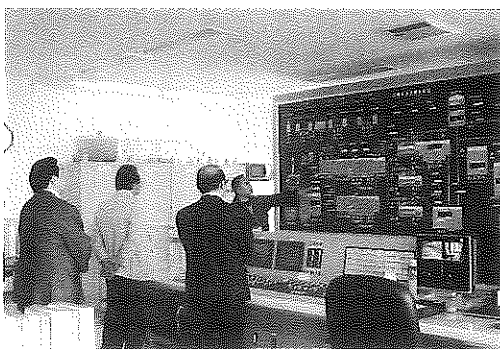
【回答】予算的には毎年度2千万円程度配管の敷設替え工事を実施。大半は老朽化している部分を300から400メートル位。本年度はスポーツ公園と栄町の夕陽が丘団地の部分を1千800万円程度を計画している。2点目の漏水状況は、羽幌町の有収水量は79%。21%位が漏水の可能性が有る。全国平均は81%で有り若干下回っている。今後とも漏水については調査等を十分行っていく。

【質問】羽幌の水が美味しい、美味しくないという判断を担当課としてどう思っているか。

【回答】販売されているミネラル・ウォーターはアルカリ度が7.4位である。水質検査の中にもペーハー値があるが、基準値は5.8〜8.6の間である。羽幌町の水は7.2〜7.4ある。販売されているミネラル・ウォーターも色々あると思うが、それに負けないだけのアルカリ度があるので羽幌の水は美味しい。

【質問】飲料水は購入している人が多い。購入した飲料水には塩素が入っていないので美味しく感じる。羽幌の水を美味しくする方法はないか。

【回答】一番良いのは塩素を飛ばしてもらえば美味しい水に変わる。塩素を飛ばす時にペーハー、アルカリ度は飛ばないので、煮沸してから飲み比べて貰えば分かる。



【質問】残留塩素を飛ばすには、どの位の時間が必要か。

【回答】一晩置くのが一番良いと思う。時間がなければ煮沸するのが一番早い処理だと思う。

【質問】水道水の美味しい飲み方の方法等についてのPRをしてはどうか。

【回答】PRの方法等について

て今後検討して行く。

2 「下水道事業」

①下水道の認可変更について

○資料に基づき説明を受ける。

・今回、認可区域内の整備率が平成19年度末で84.1%を上回るため、認可区域の拡張及び認可期間の延伸を行った。

・今回、港湾の用途区域の拡張があり、都市計画決定を行い基本計画の設定も同時に行い、その都市計画決定が21年3月26日で完了している。

・処理区の328ヘクタールは下水道の全面積。今回は全面積の見直しを行い315ヘクタールとした。

・今回の認可変更は下水道法と都市計画法の認可を受け、目標年次は25年までの4年間の延伸とした。

・処理人口は前回都市計画マスタープランで設定された人口設定を基に設定しており7,600人を6,700人の900人の減とした。

・認可は元々3池取っているが現在は2池で稼働している。全面積が減ったこと及び人口の減で最終的には3池で足りる結果となる。

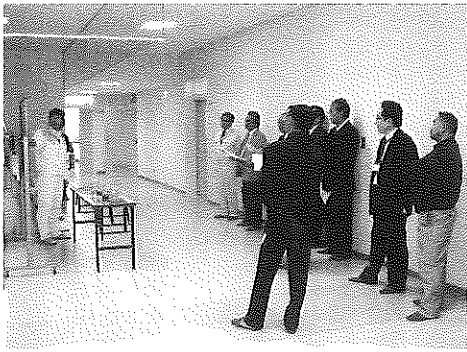
・羽幌の処理場は水質汚濁防止法上の特定事業所となり、

水質規制を受けるが、ペーハー、BOD、SS、大腸菌については下水道法の中でも規制があり「放流水域の水質の事実上基準」として設定されている。

・BOD、SSが見直しできなくなった。水質規制のきつところ以外は殆どが全国一律の基準でやっている。

・下水道法の改正により各市町村の水質状況を1年間位採取したデータを基に町村毎に決定しなければならぬことから、羽幌町も平成19年に1年間かけ採取しデータ分析して水質基準を設定した。

・羽幌町の実際の放流水質はこの基準以下のため問題は無い。



文教厚生常任委員会

(平成22年4月15日開催)

特養老人ホーム の進捗状況 について

概況説明

*2期工事が11月の完成に向け4月より開始された。

*今年度は4床室が14室。一般が12室。ショートステイが2室。1床室が5室。(一般2室、ショートが3室)です。

*社協と2回意見交換をし、それぞれの要望を聞き事業を進める事とした。

2期工事の概況を図面を見ながら説明を受け質疑に入る。

【質問】前回指摘したボイラーの問題で解決したものがあれば説明下さい。

【回答】配管の取り替えが終わり、1次ポンプと2次ポンプを付け直し終えた。

【質問】ポンプの1次と2次を取り替えたと言うが能力的に足りなかったということか。

【回答】時間を短縮するためポンプを取り替えた。

【質問】瑕疵として業者が工事費、ポンプの設置費など全てを持つという考えでよいのか。

【回答】そういうことで進んでいる。

【質問】新築工事である。毎日どの程度の湯量を使うのかが決まっている中で何故今になってポンプを取り替える事になったのか非常に不思議に思うが。

【回答】湯量が分かっていても時間帯や使う状態で設定が変わってくる。結果的には使う状態に合った考えがなされていなかったという事です。

【質問】何をどのように間違え、どの様に直したのか、もう一度説明して下さい。

【回答】3つあるお風呂は全部一斉にお湯を出して使うケースもあれば、代わる代わる使うケースも考えられるが、全箇所で一斉にお湯を張ると言うケースは想定していなかったということだ。

【質問】それは設計事務所です言ったことか。

【回答】そこを話している。

【質問】ポンプの付け直し等瑕疵で向こうが金を払ってくれるから良いのかもしれないが、本当にこれで間違いはないのか。

【回答】2期の配管系統はこれからである。湯量のことと同時に使用を低く見た状態であるので、今検証をしており最終的には追加をする。

町としては設計側の計算判断の誤りとして瑕疵でつけなさいと話をしている。

同じような繰り返しはしたくない十分に検証しながら取り組みたい。

【質問】屋根が雨漏りしたと聞いたが事実か。

【回答】管理棟に近いユニット棟の所で雨漏りがあった。

【質問】建ててすぐの雨漏りそれは構造上の問題か、それとも一般的な問題か。

【回答】今どの様なルートで水が入ったか検証している。

【意見】単に直せばよいという事ではない、しっかり検証して厳しく臨む必要がある。

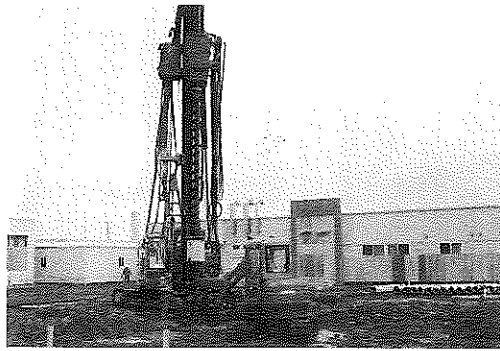
【意見】もしも設計上の問題で冬に不向きということにな

れば他の5棟も同じ事が起こってくる。今は、雪が融けて

【質問】屋根の雪が融けたという事は、専門家として見た場合、設計に無理があったのか。単なる施工のミスなのかどちらと考えるか。

【回答】施工に不備があったと考える。

【質問】2期工事と同じようなトタンの工法でやるのか。



【回答】まず、どういう所から水が入っているのかを確認をし、6棟全て同じような確認をすることとしている。

【回答】そうです。

【質問】トタンはある程度その様な危険性がある。また、錆ということも考えられるがどのくらいの期間で改修を考えているのか。

【回答】改修の時期としては15年平均かと思う。

【質問】スプリングラーの管を露出し天井の下にもつくる。それで天井裏に断熱材を這わせる方が雨漏りの問題が起きにくいのではないか。

【回答】そのように大幅に改良することは考えていない。

【質問】風呂を使う場合、ベツトから車椅子に乗せお風呂に向かいストレッチャーに乗せ換えて風呂に入れてはいる。

【質問】部屋からストレッチャーで来てそのまま風呂に入れるのがベストと思うがどうか。

【回答】特老からはその様な要望は上がっていない。もし必要であれば対応をしたい。

【意見】社協や特老と連絡を密にし使い手が悪い所や不備があった場合は直せるものは直していくという態度で臨んでいくべきだ。

【回答】4月から2回の打ち合わせをしている、今後も数多く会合を開き良いものを造

るよう勤めたい。

【質問】社協と2回程意見交換をしたとの説明であるが、対応しなければならぬ様な意見はあったのか。

【回答】簡易な（カウンターの端がない方がよい）はあったが、設計変更などの意見はなかった。

保育所の改築について

保育所の改築に係わって

幼保一元化、小学校との併設給食センターの活用などについて意見交換がされた。

主な質疑応答

【質問】保育所の改築については早急に取り組む必要がある。国の方針が出てからと言われるが、国の方針を先取りする位の積極性が要だ。

【回答】現在ある程度の情報は入手している。財源的なことも含めどの様な形が有利なのか検討中である。6月に国の方針が出て現在検討している内容と大差なければある程度の内容を示すことができると思う。

【質問】内容を示すときは、

教育委員会からも一緒に参加出来ないか。

【回答】学校と保育所だけではなく総合的に判断をし、より良いものを示したい。

道立羽幌病院について

【質問】先に町長は病院に対し「羽幌町で出来ることは何かを早急に検討したい」とのことであったが、担当課としての取り組みはどうか。

【回答】現在取り組んでいる最中である。資料もほぼ集まり、後はどんな方法がよいのか各方面から意見を伺っているところだ。

【意見】従来から道立病院だから道でやるという感覚でできたが、わが町の病院だという意識を持つ必要がある。羽幌町で何が出来るのかを強く要望したい。

【意見】羽幌町に来た先生が、羽幌町に住みやすく長く居てくれることがベストだ。そのためのもてなし等も考えるべきではないか。



『あしがき』

★夏の行楽シーズンを迎え、高速道路の一部無料化がスタートし観光客の増加に期待したいところですが、観光客や旅行に出かける皆さんの交通安全事故が心配です。車の運転には、気持ちを引き締め、しっかりとハンドルを握り安全運転に心がけ楽しい旅行にしましょう。

★はぼろパラ園も満開になり、大勢の観光客や地元住民が訪れ、美しい花に心を癒され和やかな一時を過ごしています。

ご家族や友達で散策しながら色鮮やかなバラを満喫し、のんびりくつろぐのは如何ですか。

★毎年大勢の住民の皆さんや、観光客で賑わう「はぼろ味まつり」は8月21・22日の2日間、道の駅・バラ園で開催されます。イベントや、はぼろの新鮮な特産の甘えびや海産物・農産物の即売もあります。今年最後のイベントです。みなさんで楽しみましょう。